

令和6年度 書道部の指導方針等について

令和6年4月19日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	田中 あゆみ	浅野 佳代子	教員免許 高等学校 教諭一種 (書道)	週2日
副顧問	内田 晴之介			

2 年間目標

- (1) 書を通じて自己研鑽を継続し、自己表現力を身に付ける。
- (2) 各書道展への出品を目指し、日々の練習に取り組む。
- (3) 文化祭における書道パフォーマンスを成功させる。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量
活動日は、週に2回を原則とし、活動時間は、1回1時間半を基本として、短時間に集中して行う。
- (2) 活動や発表等の計画
技術向上のため、各書道展に出品する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、整理整頓等、自ら進んで行動し、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
書道パフォーマンスを成功させるため、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立をする。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問、外部指導員、生徒、保護者で体罰・暴言のない指導について共通理解を図り、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。
- (2) 生徒間の暴力禁止
生徒同士のトラブルの際は、問題解決にあたり、言葉の暴力を含め他者を傷つけることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発達や技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 活動の手順

- (1) 部員は、活動の開始を顧問に連絡する。
- (2) 部および各部員の目標に基づき活動する。
- (3) 道具の片付けと清掃、消灯等、戸締りを行い、活動場所の原状回復をする。
- (4) 部員は、活動の終了を顧問に報告する。